

ラクスパー

ヨーロッパの南部が原産。
チドリの飛ぶ姿を思わせる花の形から、
「千鳥草」、「ひえんそう（飛燕草）」とも呼ばれます。
枝の先の一重花の蕾が見えはじめた頃摘み取ると
側枝が伸びスプレー咲きに。

学名: *Consolida ambigua*

タイプ: キンポウゲ科ヒエンソウ属の1年草

草丈: 80~120cm

開花期: 6月~9月

用途: 花もちが良く、切り花向き

土壌: 酸性土を嫌う

■育て方

移植を嫌うので、日当たりと水はけのよい所へ直まきします。

秋の高温な時期は発芽しません。他の草花よりも少し遅くまきましよう。

植え付け間隔は15~20cm程度。(もっと密植えもできますが、枝分かれが少なくなります。)

連作はしないように注意し、肥料は十分与え、草丈が伸びてきたら支柱を立ててあげます。

■利用方法

青、藤色、ローズピンク、白など、爽やかで多様な花の色や、

茎がかたく花もちもよいことから、切り花として好まれます。

蕾や葉の形も綺麗で草丈が高くなるので、花壇では中心に配置すると映えます。